



## 外国出張報告書

平成 26 年 12 月 17 日

1. 出張国名           モザンビーク、 ガーナ
2. 出張月           平成 26 年 11 月～12 月
3. 出張目的           1) ナカラ回廊における次期農家圃場試験参加者への  
                          記帳簿の説明・配布：A、  
                          2) タマレ近郊におけるため池利用のベースライン調査：B
4. 成果の概要  
1) 次期（2013－14 年雨季作）の農家圃場試験に関して、カウンターパート機関（IIAM）の農学および社会経済の研究者に対し試験の概要を説明するとともに、試験対象村であるナンプラ州ラパレ郡ミルト村、ザンベジア州グルエ郡ナマリピ村、ニアサ州シンブニラ郡ルンビ村にて、試験参加農家の確定と試験内容の説明を行った。また、参加農家のベビー圃場を含む圃場の作業歴を記録するための農家記帳簿の説明・配布を行った。  
2) ため池利用のベースライン調査の一環であるセンサス調査の準備を、ガーナ開発大学の農業経済研究者と行った。また、同氏に紹介された調査スタッフとともにタマレ近郊の実証調査対象村とその周辺 2 村を訪れ、事前に設計したセンサス調査票を試用・修正するとともに、調査票の記入方法について調査スタッフに説明・指導した。